

第六章 様 式

目 次

第六章 様 式

提出書類一覧表	様 - 1
水圧試験報告書	2
工事旬報	3
承認願	4
舗装出来形(コア)	5
工事のお知らせ(町内)	6
工事のお知らせ(お客様)	7
断水のお知らせ(お客様)	8
給水管切替えのお知らせ(お客様)	9
仕切弁オフセット様式	10
K形チェックシート	11
NS形継手チェックシート	12
NS形継手(ライナ使用)チェックシート	13
NS形異形管(75~250)チェックシート	14
NS形異形管(300~450)チェックシート	15
NS形継ぎ輪チェックシート	16
NS形継手チェックシート	17
NS形継手(ライナ使用、異形管)チェックシート	18
NS形継ぎ輪チェックシート	19
フランジ継手チェックシート(大平面座形)	20
フランジ継手チェックシート(メタルタッチでない)	21
GX形継手チェックシート(直管)	22
GX形継手チェックシート(異形管・G-Link)	23
GX形継手チェックシート(継輪)	24
GX形溝切及び面取りチェックシート	25
管体状況報告書	26
水道用資材等承認申請書	27
製品調書	28
水道用資材等の承認通知書	29
水道用資材等の非承認通知書	30
指定承認品の辞退願	31
指定承認品の承認事項変更届	32

提出書類一覧表

書 類	提出部数	提 出 先	提 出 期 限
水 圧 試 験 報 告 書	1	工事監督員	試験終了の翌日の午前中
工 事 旬 報	1	"	10日毎
施 工 計 画 書	1	"	現場着工前
承 認 願	1	"	その都度
工事のお知らせ(町内)	1	"	現場着工前
工事のお知らせ(お客様)	1	"	"
断水のお知らせ(お客様)	1	"	断水の3日前
給水管切替のお知らせ(お客様)	1	"	切替の3日前
工事施工協議簿	1	"	その都度
設計変更(軽微)協議書	1	"	"
成 果 品	1	"	工事完成時
参 考 書 類	1	"	"

課 長	係 長	係

配水管 水圧試験報告書

令和 年 月 日

監督員 様

受注者
現場代理人
主任技術者

工 事 名 :

上記工事の水圧試験を下記のとおり行ったので報告します。

記

(1) 試 験 日 時： 令和 年 月 日 時 分 ～ 令和 年 月 日 時 分

(2) 試験区間（場所）： 千歳市

(3) 水道局立会人： 職氏名 印

(4) 試 験 内 容： 試験水圧 MPa 保持時間 時間 分

(5) 試験区間の略図:

※ 試験区分は必ずどちらか消し込むこと。

No. _____

工 事 旬 報

工事名 _____

提出年月日 令和 年 月 日

受注者

現場代理人

監督員

印

印

月 日	曜日	予 定		実 施	
		工 事 ・ 施 工 内 容	予定どおり 実施済み	変更実施内容	天候
/					
/					
/					
/					
/					
/					
/					
/					
/					
/					
/					
※特記事項				前月末出来高	

-----				%	
-----				月 日	
-----				現在の出来高	
-----				%	

課長	係長	係

令和 年 月 日

監督員 様

受注者

現場代理人

承認願 ()

工事名 :

上記工事の について、ご承認下さいますようお願いいたします。

記

監督員 記入欄	別添のとおり承認したい。	印

舗装出来形表

1

測 点

施工年月日

工 事 名

	設計厚	1	2	3	4	平均
細粒度アスコン						
粗粒度アスコン						
アス安定処理						
計						
施 工 者						

2

3

4

φ 95mm

町内の皆様へ

水道工事のお知らせ

平素から、千歳市の水道事業にご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、この度 にて、水道工事を行うことになりました。工事中は何かとご迷惑をかける場合もありますが、ご理解、ご協力をいただきますようよろしくお願いいたします。

千歳市水道局 課 係

工事施工者

(1) 工 事 名 :

(2) 工 事 内 容 :

(3) 工 期 : 令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日

(4) 位 置 図 :



お 客 様 へ

水 道 工 事 の お 知 ら せ

平素から、千歳市の水道事業にご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、この度水道工事に伴いまして、お宅の前付近の道路を掘削させていただくことになりました。その間、工事による振動、騒音等により、何かとご迷惑をかける場合もありますが、ご理解、ご協力をいただきますようよろしくお願いいたします。

千歳市水道局 課 係

工事施工者

(1)工 事 名：

(2)工 事 内 容：

(3)工事予定日時：令和 年 月 日 時 ~ 令和 年 月 日 時

(4)工 事 区 間：

お 客 様 へ

断 水 の お 知 ら せ

平素から、千歳市の水道事業にご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、現在付近の水道工事を行っておりますが、工事の都合により水道が一時的に止まりますのでお知らせいたします。何かとご迷惑をおかけしますが、ご理解、ご協力をいただきますようよろしくお願いいたします。

なお、この時間内に蛇口を開けますと水道水中に空気が混じり水が「白く濁る」おそれがありますので、「台所」「トイレ」などの蛇口を開けないようお願いいたします。

千歳市水道局 課 係

工事施工者

(1)工 事 名：

(2)断水予定日時：令和 年 月 日 時 ~ 令和 年 月 日 時

(3)断 水 区 域：

お 客 様 へ

給水管切替えのお知らせ

平素から、千歳市の水道事業にご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、現在付近の水道工事に伴って、水道管とお客様の給水管との切替え作業（再接続）を行っております。

切替え作業の際、施工業者がお客様宅を訪問し、蛇口から出る水道水の状況確認をお客様に行っていただくようお願いしているところですが、ご不在の場合には、この「給水管切替えのお知らせ」を投函させていただいております。

なお、給水管切替え後の水道水は、水中に空気が混じり「白く濁る」場合もありますが、少し出し続けていただくと、通常は濁りが収まります。

ご帰宅後、「水が出ない」「水の濁りが収まらない」等、不具合が見られる場合には、以下までご連絡いただきますようお願い致します。

千歳市水道局 課 係

工事施工者

(1) 工 事 名 :

(2) 切替え終了日時 : 令和 年 月 日 時頃

(3) 切 替 え 箇 所 :

弁種	仕切弁 空気弁 排泥弁		図番					場所	丁 目 番						
									付 近						
管種	MDAP	PP	口 径	50	75	仕切弁種	ソフト弁 不断水 簡易バルブ バタフライ弁	空気弁種	単口	管種	VW	施設位置	車道	周囲状態	舗装
	MDKP	VP		100	150				双口		弁室		歩道		砂利
MDTP	VHP	200		250	急排気				A-1		路肩		土砂		
HPP	DNSP	300			ツーボート				分割式		添架		草地		
DGXP															
河川名				弁天深		m									
橋名称				中間棒		有・無									
道路番号				標示棒		有・無									
道路名称															
設置年月日															
施工工事名															
施工業者															

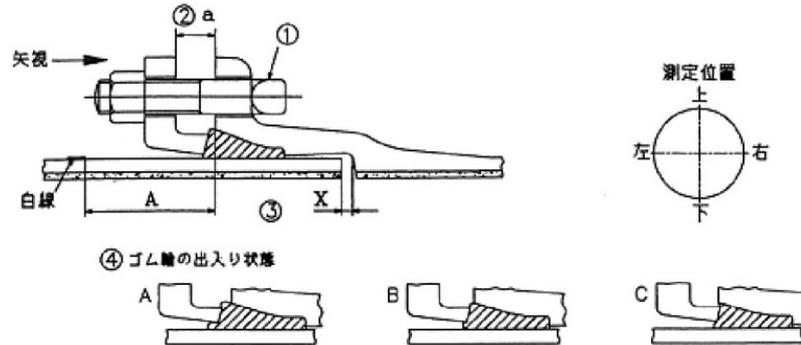
点 検 記 録	点検年月日	記 事	点 検 者																														
位 置 図																																	
写 真																																	

K形継手チェックシート

年 月 日

工事名	
工区	
配管図No.	
測点No.	
呼び径・管種	

継手施工者(_____)



管 No.							
および形状							
略 図							
継 手 No.							
清 掃							
滑 剤							
①ボルト	数						
	トルク(N・m)						
②押輪— 受口端面間隔(a)	上						
	右						
	下						
	左						
③受口端面— 白線の間隔(A) または胴付間隔 (X)	上						
	右						
	下						
	左						
④ゴム輪の 出入状態	上						
	右						
	下						
	左						
判 定							

判定基準

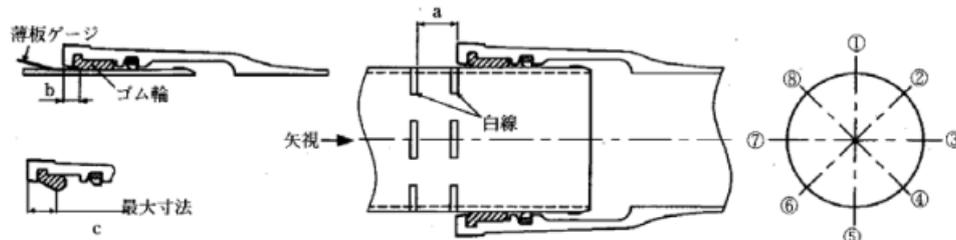
- ②押輪—受口端面の間隔(a) : 最大値—最小値 $\leq 5\text{mm}$ (同一円周上)
- ③受口端面—白線の間隔(A) : 呼び径 75~250mm $A \leq 95\text{mm}$
- 呼び径300~600mm $A \leq 107\text{mm}$
- または胴付間隔 (X) : $X \leq$ 表2の値
- ④ゴム輪の出入状態 : 同一円周上にA, CまたはA, B, Cが同時に存在しないこと。

NS形継手チェックシート

年 月 日

工事名	
工区	
配管図 No.	
測点 No.	
呼び径・管種	

継手施工者 (_____)



管 No. および形状								
略 図	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
継 手 No.								
清 掃								
滑 剤								
受口溝(ロックリング)の確認								
受口面～ゴム輪の最大寸法(c)								
受口面～ゴム輪 間隔 (b) ※ 1	全周チェック							
	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
	⑦							
受口面～白線 間隔 (a)	①							
	③							
	⑤							
	⑦							
判 定								
備 考								

判定基準 受口面～ゴム輪間隔 (b) < 受口面～ゴム輪 (仮測定) 最大寸法 (c)

※1 薄板ゲージを全周にわたって受口と挿し口のすき間に差し込み、 $b < c$ であることを確認する。

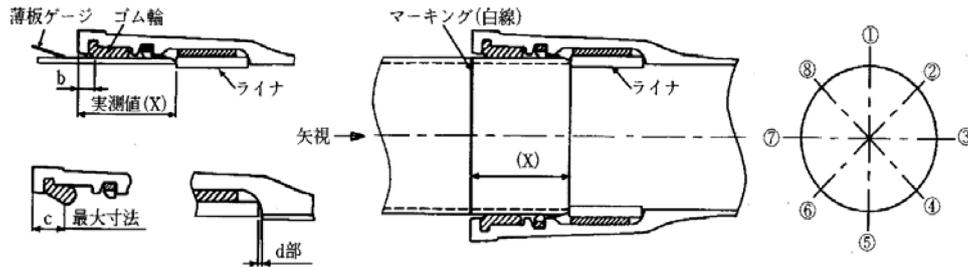
全周にわたり c 以下であれば、そのうち円周 8 箇所値をチェックシートに記入する。

NS形継手 (ライナー使用) チェックシート

年 月 日

工 事 名	
工 区	
配 管 図 No.	
測 点 No.	
呼び径・管種	

継手施工者 (_____)



管 No. および形状									
略 図	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
継 手 No.									
清 掃									
滑 剤									
受口溝(ロックリング)の確認									
受口面～ゴム輪の最大寸法(c)									
受口面～ゴム輪 間隔 (b) ※1	全周チェック								
	①								
	②								
	③								
	④								
	⑤								
	⑥								
	⑦								
⑧									
ライナー位置の確認 (d部)									
挿入位置の確認 ※2									
判 定									
備 考									

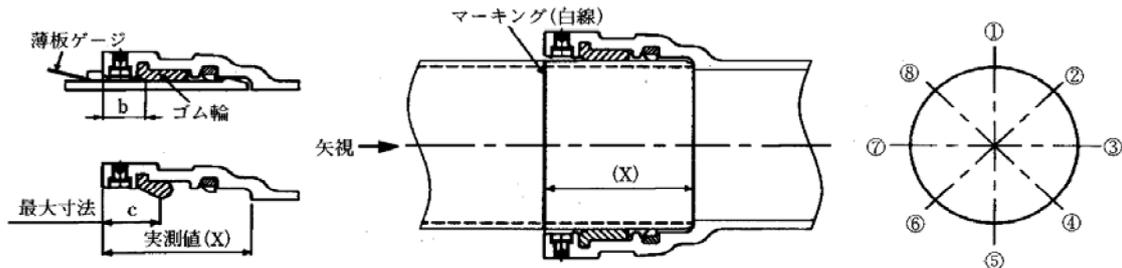
判定基準 受口面～ゴム輪間隔 (b) < 受口面～ゴム輪の最大寸法 (c)
 ※1 薄板ゲージを全周にわたって受口と挿し口のすき間に差し込み、 $b < c$ であることを確認する。
 全周にわたり c 以下であれば、そのうち円周 8 箇所値をチェックシートに記入する。
 ※2 現場で明示したマーキング(白線)上に受口端面があること。

NS形異形管(φ75~250)チェックシート

年 月 日

工事名	
工区	
配管図 No.	
測点 No.	
呼び径・管種	

継手施工者 (_____)



管 No. および形状							
略 図	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
継 手 No.							
清 掃							
滑 剤							
受口溝(ロックリング)の確認							
受口面～ゴム輪の最大寸法 (c)							
受口面～ゴム輪 間隔 (b) ※1	全周チェック						
	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
	⑦						
⑧							
挿入位置の確認 ※2							
屈曲防止リングの確認 ※3							
判 定							
備 考							

判定基準 受口面～ゴム輪間隔 (b) < 受口面～ゴム輪の最大寸法 (c)

※1 薄板ゲージを全周にわたって受口と挿し口のすき間に差し込み、 $b < c$ であることを確認する。

全周にわたり c 以下であれば、そのうち円周8箇所の値をチェックシートに記入する。

※2 現場で明示したマーキング(白線)上に受口端面があること。

※3 屈曲防止リングと挿し口外面に薄板ゲージが入らないこと。

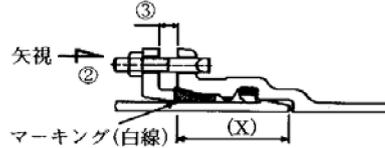
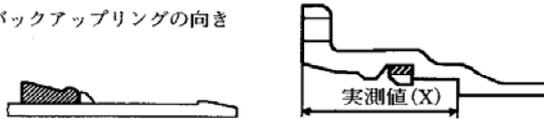
NS形異形管(φ300~450)チェックシート

年 月 日

工 事 名	
工 区	
配 管 図 No.	
測 点 No.	
呼び径・管種	

継手施工者 (_____)

①バックアップリングの向き



④ゴム輪の出入状態



管No. および形状							
略 図	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
継 手 No.							
清 掃							
滑 剤							
受口溝(ロックリング)の確認							
① バックアップリングの向き							
② ボルト	数						
	トルク N・m						
③ 押輪～受口 間 隔	上						
	右						
	下						
	左						
④ ゴム輪の 出入状況	上						
	右						
	下						
	左						
挿入位置の確認*							
判 定							
備 考							

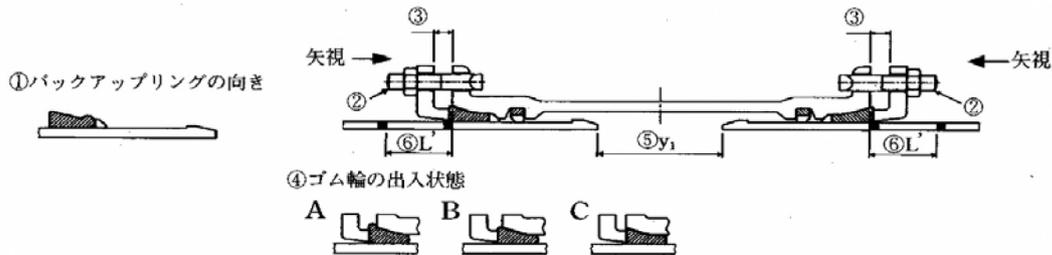
判定基準 ①バックアップリングの向き：テーパ部分が挿し口端面側にあること。
 ③押輪～受口間隔：最大値-最小値 ≤ 5mm (同一円周上)
 ④ゴム輪の出入状況：同一円周上にA、CまたはA、B、Cが同時に存在しないこと。
 ※現場で明示したマーキング(白線)上に受口端面があること。

NS形継ぎ輪チェックシート

年 月 日

工事名	
工区	
配管図 No.	
測点 No.	
呼び径・管種	

継手施工者 (_____)



管 No.および形状

略 図

清 掃

滑 材

受口溝(ロックリング)の確認

① バックアップリングの向き

② ボルト

数

トルク

N・m

③ 押輪～受口
間 隔

上

右

下

左

④ ゴム輪の
出入状況

上

右

下

左

⑤ 両挿し口端の
間 隔
(y1)

上

右

下

左

⑥ L'
受口端面～
白線の間隔

上

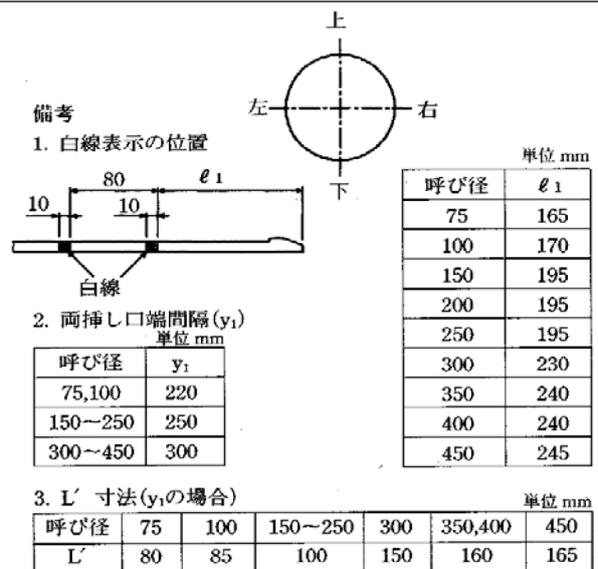
右

下

左

判 定

備 考
せめ配管



判定基準 ①バックアップリングの向き：テーパ部が挿し口端面側にあること。

③押輪～受口間隔：最大値－最小値≤5mm（同一円周上）

④ゴム輪の出入状況：同一円周上にA、CまたはA、B、Cが同時に存在しないこと。

注) ⑤は、一方から配管する場合には記入不要。 ⑥は、せめ配管の場合には記入不要。

NS形継手チェックシート

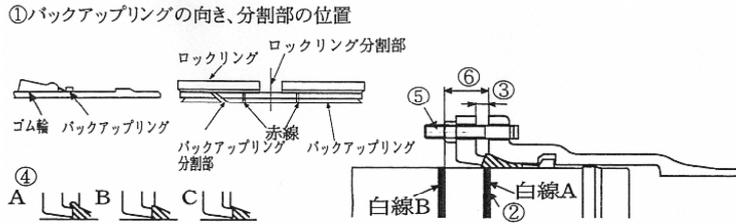
年 月 日

工 事 名	
工 区	
配 管 図 No.	
測 点 No.	
呼び径・管種	

--	--	--	--

継手施工者

()



単位mm	
呼び径	X
500	31
600	31
700	32
800	32
900	32
1000	33

管 No. および形状							
略 図	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
清 掃							
滑 剤 の 塗 布							
① バックアップリングの向き、	(1)						
	(2)						
② 挿入量確認	上						
	右						
	下						
③ 押輪～受口間隔	左						
	上						
	右						
④ ゴム輪の出入状態	下						
	左						
	右						
⑤ ボルト	数						
	トル						
⑥ 白線B～受口間隔	上						
	右						
	下						
	左						
判 定							

判定基準 ①バックアップリングの向き、分割部の位置：(1)バックアップリングの羽根部がゴム輪側にあること。(2)バックアップリング分割部とロックリング分割部が重ならないこと。

②挿入量確認：白線Aの中に受口端面があること。

③押輪～受口間隔：最大値-最小値 ≤ 5 mm (同一円周上)

④ゴム輪の出入状態：同一円周上にA、CまたはA、B、Cが同時に存在しないこと

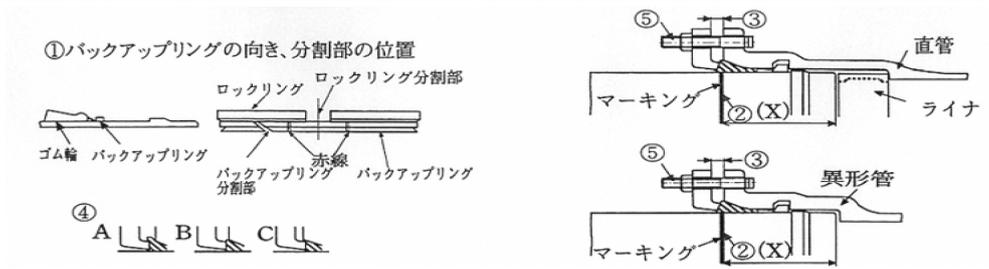
⑤白線B～受口間隔：最大値-最小値 ≤ X (X：上表参照)

NS形継手（ライナ使用、異形管）チェックシート

年 月 日

工 事 名	
工 区	
配 管 図 No.	
測 点 No.	
呼び径・管種	

継手施工者（ _____ ）



管No. および形状									
略 図	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
清 掃									
滑 剤 の 塗 布									
抜け出しチェック									
① バックアップリングの向き、 分割部の位置	(1)								
	(2)								
② 挿入位置の確認	上								
	右								
	下								
	左								
③ 押輪～受口間隔	上								
	右								
	下								
	左								
④ ゴム輪の出入状態	上								
	右								
	下								
	左								
⑤ ボルト	数								
	トルク								
判 定									

判定基準 ①バックアップリングの向き、分割部の位置：(1)バックアップリングの羽根部がゴム輪側にあること。(2)バックアップリング分割部とロックリング分割部が重ならないこと。
 ②挿入位置の確認：現場で明示した白線上に受口端面があること
 ③押輪～受口間隔：最大値-最小値≦5mm（同一円周上）
 ④ゴム輪の出入状態：同一円周上にA、CまたはA、B、Cが同時に存在しないこと

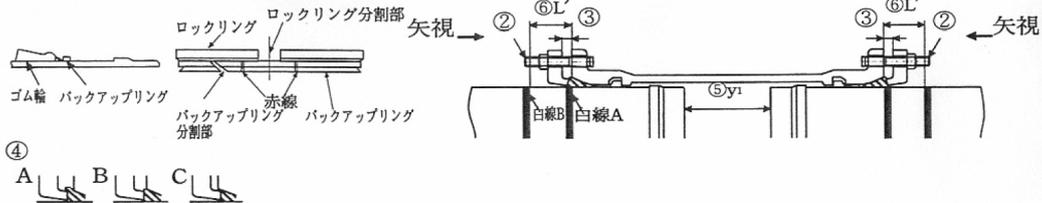
NS形継ぎ輪チェックシート

年 月 日

工事名	
工区	
配管図No.	
測点No.	
呼び径・管種	

継手施工者()

①バックアップリングの向き、分割部の位置

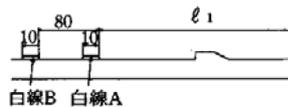


管 No.および形状									
略 図									

清 掃			
滑 剤 の 塗 布			
① バックアップリングの向き、 分割部の位置	(1)		
	(2)		
② ボルト	数		
	トルク		
③ 押輪～受口間隔	上		
	右		
	下		
④ ゴム輪の出入状態	左		
	上		
	右		
⑤ 両挿し口端の間隔(y ₁)	下		
	左		
	上		
⑥ L'	右		
	下		
	左		
判 定			

備考

1. 白線表示の位置



呼び径	ℓ ₁
500	220
600	220
700	257
800	265
900	265
1000	268

2. 両挿し口端間隔(y₁)
およびL'寸法(y₁の場合)

呼び径	y ₁	L'
500	260	105
600	260	105
700	300	87
800	305	98
900	305	98
1000	310	103

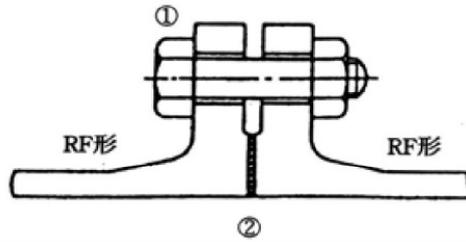
判定基準 ①バックアップリングの向き、分割部の位置:(1)バックアップリングの羽根部がゴム輪側にあること。(2)バックアップリング分割部とロックリング分割部が重ならないこと。
 ②押輪～受口間隔:最大値-最小値≤5mm(同一円周上)
 ③ゴム輪の出入状態:同一円周上にA、CまたはA、B、Cが同時に存在しないこと
 注)両挿し口端の間隔(y₁)は、一方から配管する場合には記入不要。L'(受口端面～白線の間隔)は、せめ配管の場合には記入不要。

大平面座形フランジ継手チェックシート

工事名 工区	
配管図No. 測点No.	
呼び径・管種	

年	月	日

継手施工者(_____)



製品名 および形状									
製品 No.									
略 図									
継 手 No.									
清 掃									
①ボルト	数								
	トルク (N・m)								
②ガスケットの位置									
判 定									

判定基準 ①ボルトの締め付けトルク : 表3の標準締め付けトルクによる。
 ②ガスケットの位置 : フランジ面が平行にかたよりなく接合されていることおよびガスケットのずれがないこと。

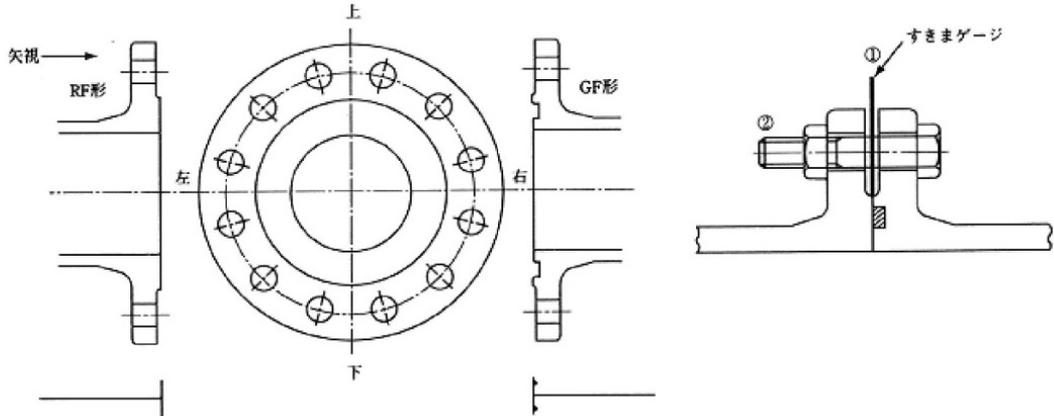
溝形フランジ継手チェックシート (メタルタッチでない場合)

工事名	
工区	
配管図No.	
測点No.	
呼び径・管種	

年	月	日	

継手施工者(_____)

呼び圧力 _____



製品名 および形状								
製品 No.								
略 図								
継 手 No.								
清 掃								
接着剤使用の有無								
①すきまゲージ (上限用と下限 用) によるチェック	上							
	右							
	下							
	左							
②ボルト	数							
	ゆるみ チェッ ク							
判 定								

判定基準 ①すきまゲージによるチェック : 表4に示した上限のすきまゲージが挿入できないので、下限のすきまゲージが挿入できること。
 ②ボルトのゆるみチェック : 容易にゆるまないこと。

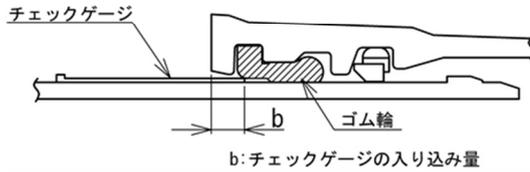
G X形継手 チェックシート (直管)

年 月 日

工事名	
測点No	
呼び径・管種	

現場代理人	主任技術者	配管工

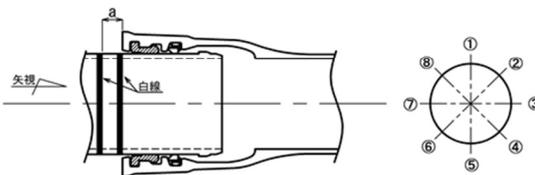
① 直管



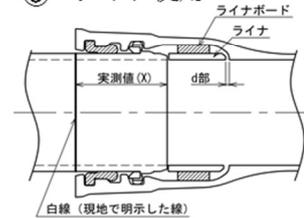
b寸法の合格範囲

呼び径	合格範囲 (mm)
75	8~18
100	8~18
150	11~21
200	11~21
300	14~24
400	14~25

②



③ ライナ使用



管 No.								
管の種類								
略図/ライナ								
継手 No.								
挿し口突部の有無								
清掃材								
挿し口の挿入量の明示								③
受口溝 (ロックリング) の確認								
受口端面～ゴム輪 間隔(b)※1	全周 チェック							①
	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
	⑦							
受口端面～白線 間隔(a)	①							②
	③							
	⑤							
	⑦							
ライナの位置確認(d)※2								③
マーキング (白線) 位置の確認※3								
判定								
備考								

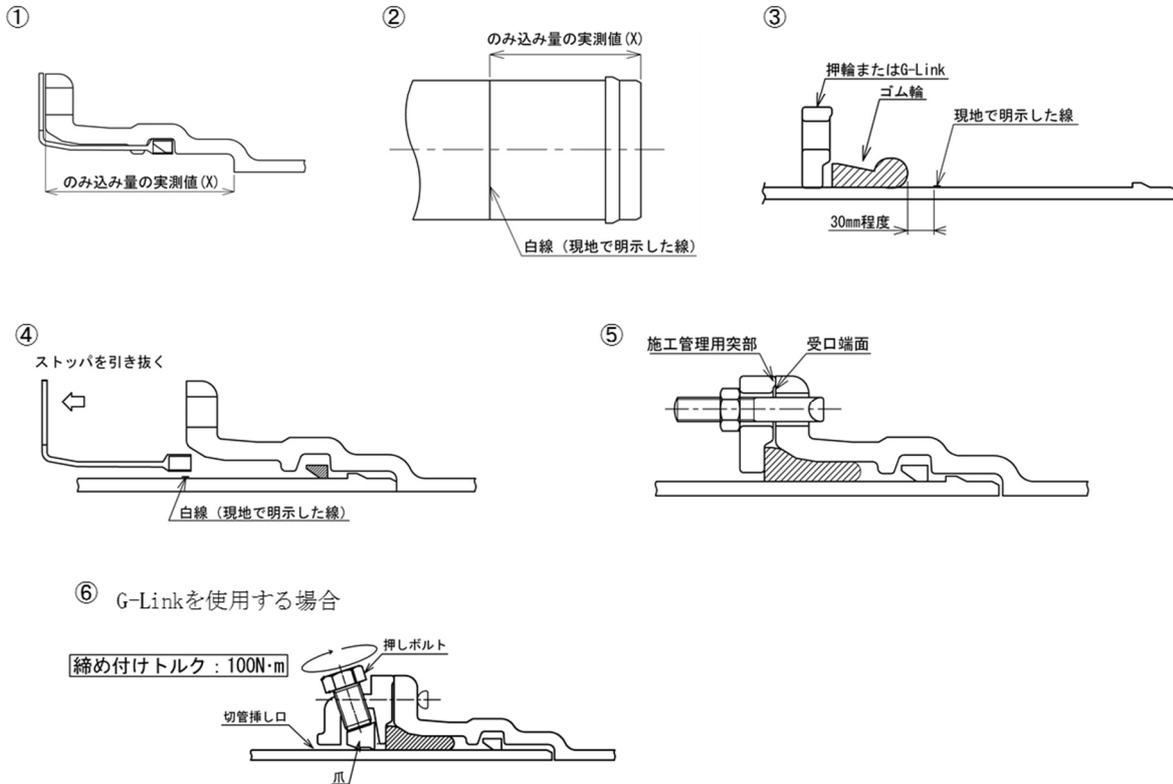
判定基準 ※1 受口端面～ゴム輪間隔(b)が表に示す合格範囲内であること。また、曲げ接合してチェックゲージがゴム輪位置まで挿入できない場合は、チェックできなかったことを記載する。
 ※2 ライナが受口奥部に当たっていることを確認する。
 ※3 接合直後にマーキング (白線) 位置が全周にわたり受口端面の位置にあるか確認する。

G X形継手 チェックシート (異形管・G-Link)

年 月 日

工事名	
測点No.	
呼び径・管種	

現場代理人	主任技術者	配管工



管 No.								
管の種類								
略図								
継手 No.								—
挿し口突部の有無 (注)								—
清掃								—
滑剤								—
挿し口の挿入量の明示								①②
爪、押しボルトの確認 (G-Link)								
ゴム輪、押輪またはG-Linkの確認								③
ストップパ、ロックリングの確認								④
T頭ボルト	本数							⑤
受口端面～ 施工管理用突部 の隙間 ※	箇所数							⑤
	隙間ゲージ確認							
押しボルト	本数							⑥
	トルク確認							
判定								—
備考								

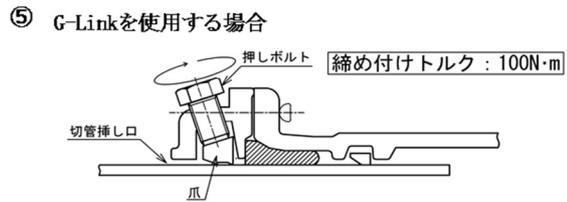
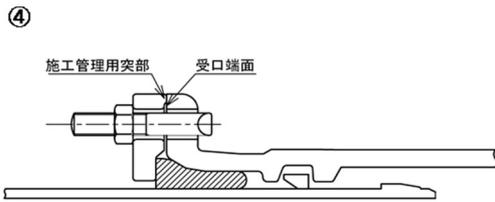
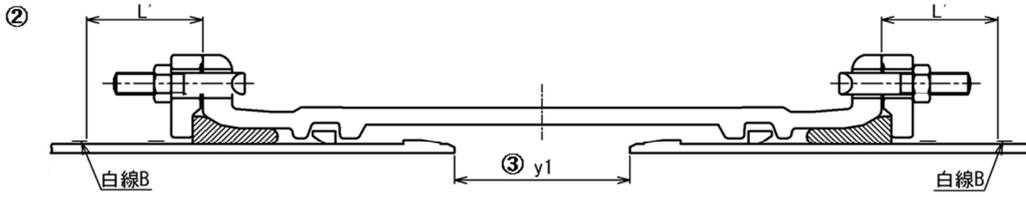
判定基準 ※ 受口端面と押輪またはG-Linkの施工管理用突部との間に0.5mm以上の隙間がないこと。
注) 挿し口突部の無い挿し口を異形管受口と接合する場合は、G-Linkを使用すること。

G X形継手 チェックシート (継輪)

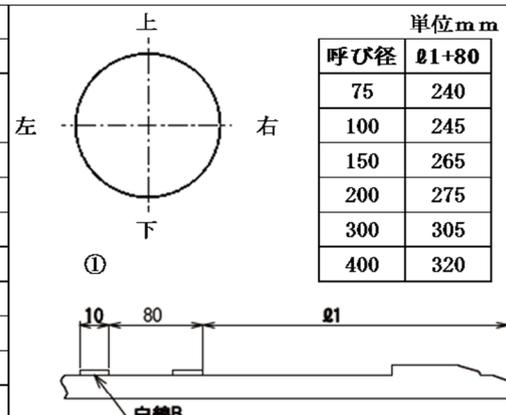
年 月 日

工事名	
測点No.	
呼び径・管種	

現場代理人	主任技術者	配管工



管 No.				
管の種類				
略図				
継手 No.				-
挿し口突部の有無 注1)				-
清掃				-
滑剤				-
切管挿し口の白線Bの明示				①
ゴム輪、押輪またはG-LINKの確認				-
爪、押しボルトの確認(G-Link)				-
ストップ、ロックリングの確認				-
受口端面～ 白線の間隔 (L') 注2)	上			②
	右			
	下			
	左			
両挿し口端の 間隔(y1) 注2)	上			③
	右			
	下			
	左			
T頭ボルト	本数			④
受口端面～ 施工管理用突部 の間隔 ※	箇所数			④
	隙間ゲージ確認			
押しボルト	本数			⑤
	トルク確認			
判定				
備考				



(i) 一方から順次配管していく場合

呼び径	L'
75	90
100	95
150	110
200	120
300	135
400	150

(ii) せめ配管の場合

呼び径	y1
75	190
100	200
150	240
200	250
300	300
400	300

判定基準 ※ 受口端面と押輪またはG-Linkの施工管理用突部との間に0.5mm以上の隙間がないこと。

注1) 挿し口突部の無い挿し口を異形管受口と接合する場合は、G-Linkを使用すること。

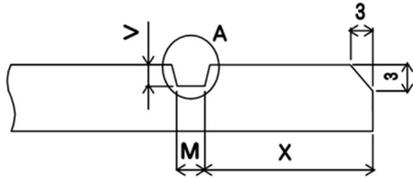
注2) 一方から順次配管していく場合にはL'寸法、せめ配管の場合はy1寸法を記入すること。

G X形溝切及び面取り チェックシート

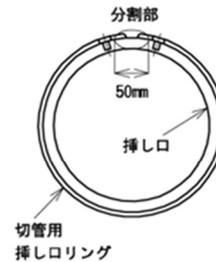
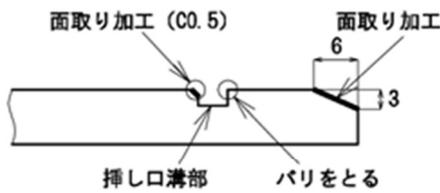
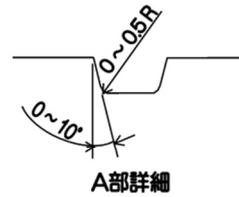
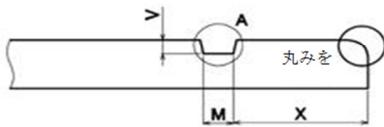
年 月 日

工事名		現場代理人	主任技術者	配管工
呼び径・管種	φ	mm		

<呼び径75~250>

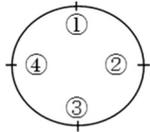


<呼び径300、400>



<分割部 (50mm幅) の断面図>

溝切部確認位置



挿し口加工寸法

単位：mm

呼び径	M		V		X	
	寸法	許容差	寸法	許容差	寸法	許容差
75~250	4.5	+1 0	2.5	0 -0.5	24.5	+1 -2
300, 400	4.5	+1 0	2.5	0 -0.5	20	+1 -2

継手 No.

切管の種類・寸法

甲切

L=

乙切

L=

溝切部寸法

M

V

X

判定

リングの浮き確認※1

ねじ飛び出しの確認※2

備

考

- ・刃の研磨時は特にV寸法に注意する。
- ・挿し口加工部は、発生したバリを除去し、ダクトイル鉄管切管鉄部用塗料で塗装する。

判定基準 ※1 シャコ万力の締め付け後とタッピンねじ締め付け後(シャコ万力取り外し後)に、切管用挿しリングと挿し口外面との間に0.5mmの隙間ゲージが全周にわたって入らないことを確認する。
 ※2 挿しリングからねじの頭部が飛び出していないことを確認する。

管体状況報告書

図面番号

※平面図の記号、栓番等に合わせる

[報告書は1現場当たり給水管2箇所以上、配水管を試掘した場合種類毎に1箇所以上]

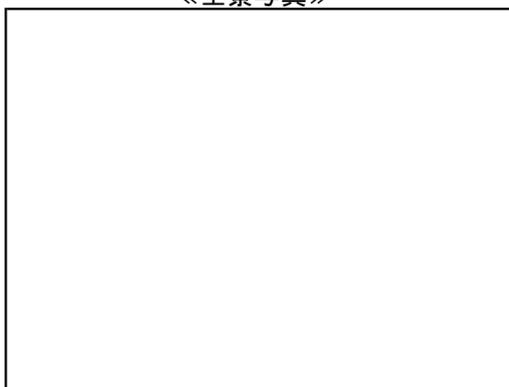
例1、配水管の試掘をしなかった場合は給水管**2箇所**の報告書提出。

例2、本管が鋳鉄管とPE管の試掘をした場合、鋳鉄管**1箇所**、PE管**1箇所**、給水管**2箇所**

1. 試掘日時 令和 年 月 日
2. 試掘箇所住所 千歳市 丁目 番(番地) 号 様地先
3. 工事名
3. 施工業者

4. 試掘状況 (1) 状況写真

《全景写真》



※土質状況や地下水位が解るように撮影すること。地上から施設が写るように撮影すること

《接写写真》



※管の表面状況が解るように撮影すること。継手類が出現した場合は緩み漏水状況を確認

(2) 施設状況 (チェックマーク ✓ を入力)

- ・ 施設区分 給水管 配水管
- ・ 管種 ポリエチレン管 塩ビ管 ダクタイル鋳鉄管 その他()
- ・ 管径 13mm 20mm 25mm 40mm 50mm その他 mm
※管径記入
- ・ 設置年 昭和 平成 年 (西暦 年)
- ・ 道路区分 歩道 車道 路肩、砂利、未舗装
- ・ 舗装構成 歩道 1層 2層 3層 その他(未舗装、砂利、特殊舗装)
- ・ 設置高 土被り m ※特に浅い施設は正確に測定
- ・ 状況 新品同様 変色、傷等が見られる 劣化、腐食が多少みられる 劣化、腐食が激しい
※設置状況は水洗い等で表面を清掃してから確認すること。また、必ず全周触診すること(給水管のみ)。
- ・ 土質状況 砂質土 粘性土 腐植土 泥炭
- ・ 地下水位 対象施設水没 対象施設より水位は低い
- ・ その他特筆すべき事項

※劣化、腐食など変化が見られる場合は具体的症状を記入

様式第1号

年 月 日

千歳市公営企業管理者 様

(申請者)

事業所の所在地

商号又は名称

代表者名

印

水道用資材等承認申請書

千歳市水道局において使用する水道資材（水道工事共通仕様書 第2章 材料）として指定承認いただきたく、関係書類を添付のうえ、次のとおり申請します。

なお、本申請書及び添付書類の記載事項については、事実と相違がないことを制約します。

1 承認の分類

申請品

鋳鉄管類

鉄蓋・ます類

ビニル管

不断水T字管類

鋼管類

サドル分水栓

ポリエチレン管類

補修用金具

弁栓類

その他

2 提出部数 1部

3 その他（参考資料及び技術資料）

製品調書

会社名商号	
製品名称	
規格名称	
規格番号等	
形状寸法等	
製品の用途	
製品の特徴	
備考	

様式第3号

年 月 日

(申請者)
事務所の所在地
商号又は名称
代表者名 様

千歳市公営企業管理者
島 倉 弘 行 印

水道用資材等の承認通知書

千歳市水道局において使用する水道資材（水道工事共通仕様書 第2章 材料）として申請のあった以下の製品について、承認品として登録しましたので、通知します。

なお、申請書等の記載事項に変更が生じた場合は、速やかに承認事項の変更届を提出してください。

- 1 承認製品名称
- 2 承認規格
- 3 承認番号
- 4 登録年月日 年 月 日
- 5 その他

様式第4号

年 月 日

(申請者)
事務所の所在地
商号又は名称
代表者名 様

千歳市公営企業管理者
島 倉 弘 行 印

水道用資材等の非承認通知書

千歳市水道局において使用する水道資材（水道工事共通仕様書 第2章 材料）として申請のあった以下の製品について、非承認品としましたので、通知します。

- 1 申請製品名
- 2 非承認規格
- 3 非承認の理由

千歳市水道局（水道工事共通仕様書 第2章 材料）に記載する の要件を満たしていないため。

- 4 備考

様式第5号

年 月 日

千歳市公営企業管理者 様

(申請者)

事業所の所在地

商号又は名称

代表者名

印

指定承認品の辞退願い

年 月 日付の指定承認に関して以下のとおり、承認を辞退したいので承認の取り消しをお願いします。

製品名称	
承認番号	
辞退理由	

年 月 日

千歳市公営企業管理者 様

(申請者)

事業所の所在地

商号又は名称

代表者名

印

指定承認品の承認事項変更届

年 月 日付の指定承認に関して以下のとおり、変更したため、関係書類を添付し、提出いたします。

なお、本変更届及び添付書類の記載事項については、事実と相違がないことを制約します。

製品名称		
承認番号		
変更事項	変更前	
	変更後	
添付資料		